

【団体名：木更津市有機農業推進協議会】



「木更津市有機農業推進協議会」について

- 「木更津市有機農業推進協議会」は、市内有機農業の効率的な生産を図るとともに、共同利用を実施し、安全で安心な有機農業の確立に資することを目的として、令和元年6月に設立した生産者団体です。
- 木更津市をはじめとする関係機関等との連携のもと、市内公立小中学校の学校給食提供に向けた有機米（きさらづ学校給食米）の生産促進に取り組んでいます。
- 現在、14名の会員（生産者）と木更津市、千葉県君津農業事務所、木更津市農業協同組合等の関係機関と協力し、安定的・省力的な有機米栽培技術の確立を目指しています。



活動の背景・趣旨について

- 市内水稻生産者で組織する「木更津市有機農業推進協議会」では、木更津市が掲げる「オーガニックなまちづくり」に賛同し、市内公立小中学校の学校給食提供に向けた有機米（きさらづ学校給食米）の生産に取り組んでいます。
- 全国では、多様なブランド米が流通する中、木更津市の基幹作物である米の付加価値向上・ブランド化を図り、「きさらづ学校給食米」としてのブランドを高めていくため、そして何よりも子どもたちに安全・安心・美味しい学校給食を届けるため、日々、米作りに取り組んでいます。
- 「米」という字は、八十八という文字からつくられたと言われており、「88の手間」をかけて作られていることに由来していると言われています。
- 私たちが大事に育てたお米を是非、味わってください。



寄附を募集するにあたって

- 今回、寄附を募集するにあたっては、市内公立小中学校の学校給食に提供する有機米(きさらづ学校給食米)を安定的・計画的・効率的に生産していくため、葉緑素計の購入を計画しています。
※寄附金が不足した場合、その他必要な備品を購入します。
- 稲に含まれる葉緑素の量を計測することで、稲の栄養状態を把握し、適切な施肥(肥料)管理を行うことにより、安定した収穫量の確保と品質の向上を目指します。
- また、肥料効率を高めることで、肥料費用の削減による経済性や過剰肥料による環境負荷の低減にもつながります。



予想される成果・効果について

- 市内で生産された安全・安心・美味しい有機米(きさらづ学校給食米)を学校給食に提供することで、生産と消費が域内で完結し、「顔の見える学校給食」の実現による地産地消や食育の推進につながるとともに、木更津市の基幹作物である米の付加価値向上・ブランド化につながります。

